

水の安全・安心基盤整備（図面）

計画の名称	東京港における海岸防災機能の維持・強化		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和4年度（7年間）	交付対象	東京港

高潮

A-1



凡例

- 内部護岸
- 水門廃止に伴う防潮堤整備
- 水門
- 排水機場
- 計画対象外

水の安全・安心基盤整備（図面）

計画の名称	東京港における海岸防災機能の維持・強化		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和4年度	（7年間）	交付対象 東京港



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：東京港における海岸防災機能の維持・強化
事業主体名：東京都

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 計画の目標が港湾計画の方針と適合している。	○
2) 港湾計画等と整合性が確保されている。	○
3) 計画の目標が東京湾沿岸海岸保全基本計画と整合している。	○
4) 計画の目標が地域防災計画等と整合している。	○
②地域の課題への対応	
1) 東京港の課題等を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と事業内容の整合性等	
1) 整備計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
②事業の効果	
1) 事業実施により十分な事業効果が発揮される。	○
2) 事業連携等による相乗効果が得られるものとなっている。	○
3) 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○
②地元の熱意	
1) 海岸事業の実施に向けた機運が高い。	○
③円滑な事業執行の環境	
1) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
2) 計画内容に関し、関係者等の合意形成が整っている。	○